

通学路安全対策の受け止めは



田境毅 議員



なるべく早く整備していく



歩道修繕に合わせガードパイプを設置

問 通学路の安全対策が着実に進むための課題を問う。

答 ガードパイプ設置計画は。

問 建設部長▼県は、小学生40人、通学路歩道幅2メートル未満で植樹帯の無い歩道を、概ね5年以内に対策」。町はさらに、中学生の通学路も防護柵設置を進める。今後

も基準にとらわれず引き続き、協力機関と安全対策を進める。

問 歩道に関わる課題を整理し、次年度計画へつなげる考えは。

答 課題整理し令和6年度整備を検討し、取り残される所が無いよう把握に努める。

問 自歩道化の考えは。利用する町民のニーズを反映した対策に。

答 令和4年度通知により自転車は車道を通り。自転車通学が最も安全なルート選定や整備を行う。

問 運転者が交通弱者を見つけやすくなる環境整備、光害対策型道路灯導入を。

答 横断者を認識しにくい場所には照明を設置し、町管理道路照明は446基。農作物や近隣住宅への影響などが課題。光害対策型街路灯導入を検討し県にも要望していく。

問 既設カーブミラーの視認性向上の取り組みは。

答 清掃ボランティアに頼っている。新設は曇り止め機能のあるものを導入し、メンテナンス軽減していく。

問 生活道路における通り抜け対策は、最も増加する交通量を基準値に立案が必要。

答 幹線道路と生活道路を明確に区分し、対策することが必要。道路管理者等と連携し、国県等への要望を含め、包括的な交通安全対策に取り組みたい。

問 通学路の安全対策状況に対する町長の受け止めは。

答 町長▼ガードパイプ設置をなるべく早く整備していく。県・岡崎警察署等へしっかりと要望していく。

問 機器導入による防犯対策促進を。広域的な取り組みを積極的に進めるべき。

答 総務部長▼県の取り組みを注視し、岡崎警察署、岡崎市とも連携を模索したい。

問 今後ごみ出しマナー向上カメラの在り方の検討が必要では。

答 環境経済部長▼既存のものとの連携考慮し、廃棄物対策全体の費用対効果を相対的に考慮、判断したい。

問 位置情報を把握するGPS機器活用

答 総務部長▼DX推進で研究したい。

機器導入による防犯対策促進を

連携した取り組みを模索

犯罪捜査の高度化・効率化に取り組み県と連携が期待される。

問 歩行者用LED信号灯の設置促進を。

答 総務部長▼地域要望が後押し。優先度を見極め、道路管理者等と連携し、計画的に岡崎警察署へ協議し働きかけたい。



いなよし てるお 稲吉 照夫 議員

町民大運動会の再開予定は

町村合併70周年記念の令和6年



ソフトボールレディース大会でハッスル

問 4月から生涯学習課から、文化スポーツ課に課名が変更された。文化・スポーツ活動と事業に、より一層の充実を期待する。

答 課名の変更による活動の特徴などは、教育部長▼文化・スポーツを表記することで内容を明確にし、事業の充実を図る。

問 町民大運動会を2年間、年度当初から中止した理由は、滞在時間が長くなることから、新型コロナウイルスの感染対策が心配であった。

答 町民大運動会の再開の予定はいつ。町村合併70周年記念にふさわしい内容で令和6年に実施。

問 町営の各運動場の利用日数は、坂崎314日、とぼね206日、大日蔭129日、深溝76日。

答 町営の各運動場の利用日数は、坂崎314日、とぼね206日、大日蔭129日、深溝76日。

問 町議選にも選挙公報の作成を必要は十分感じている

答 町議選にも、選挙公報の作成を。総務部長▼県下でも選挙公報発行の条例整理をしている自治体もある。必要性は十分感じている。今後検討。

問 住民子ども部長▼発表の場に議場を使用する意義、意見の反映など検討していく。

答 住民子ども部長▼発表の場に議場を使用する意義、意見の反映など検討していく。

問 とぼねグラウンドは、全体的に石が表面に出てきているが、改修の計画は。

答 利用者からの報告で知っている。利用者の安全は最優先。改修を考えたい。

問 県議選、町議選の投票率が低いと思うが、見解は。

答 総務部長▼政治への関心や、当事者意識の低下が考えられる。

問 各家庭への選挙公報配布を速やかに出来ないか。

答 同規模の自治体などを参考に検討していきたい。

問 深溝運動場Aグラウンドは大きな水たまりができる。改修予定は。

答 今年度、予算計上。利用状況を考え対応する。

問 子ども会議の在り方をどう考えるか。

答 町長は今回の選挙をどのように受け止めているか。町長▼時代に合った新しいまちづくりのために、新しい意見、新しい議会として、町政運営にお力添えをお願いしたい。